

タイムテーブル

宇治おうばくプラザ		総合研究実験棟				
	S会場 (きはだホール)	ポスター会場(2階)	A 会場 (CB206)	B 会場 (CB207)	C 会場 (CB216)	D 会場 (CB217)
09:00 受付開始(きはだホールロビー)		09:00-10:30 ポスター貼付け				
	09:20 - 09:23 開会の辞 例会長 二木 史朗					
	09:23-09:45 近畿支部奨励賞受賞記念講演 森脇健太氏 座長: 支部長 栗原達夫(京大)					
			10:00-12:00 一般演題 (口頭発表) A01 - A10 座長: 加藤裕教(京大) 中瀬生彦(大阪府大)	10:00-12:00 一般演題 (口頭発表) B01 - B10 座長: 根木 滋(同女大) 三原久明(立命館大)	10:00-12:00 一般演題 (口頭発表) C01 - C10 座長: 芦高恵美子(大工大) 申 惠媛(京大)	10:00-12:00 一般演題 (口頭発表) D01 - D10 座長: 瀬尾美鈴(京産大) 藤原範子(兵庫医大)
12:15-13:00 評議員会 (おうばくプラザセミナー室4.5)	12:00-13:00 昼食 (宇治生協食堂、おうばくプラザ(セブンイレブン、レストラン「きはだ」等))					
		13:00-14:00 一般演題ポスター発表 (奇数:前半、偶数:後半) 高校生ポスター発表				
		14:00-14:30 ポスター撤去	14:15-16:03 一般演題 (口頭発表) A11 - A19 座長: 齋藤一樹(姫路獨協大) 茂里 康(和歌山県医大)	14:15-16:03 一般演題 (口頭発表) B11 - B19 座長: 亀井加恵子(京工繊大) 増井良治(大阪市大)	14:15-16:03 一般演題 (口頭発表) C11 - C19 座長: 井原義人(和歌山県医大) 原 雄二(京大)	14:15-16:03 一般演題 (口頭発表) D11 - D19 座長: 扇田久和(滋賀医大) 通山由美(姫路獨協大)
	16:15-17:45 特別シンポジウム PL1: 深瀬 浩一 先生 座長: 三善英知(阪大) PL2: 荒木 通啓 先生 座長: 高木博史(奈良先端大) PL3: 岩井 一宏 先生 座長: 二木史朗(京大)					
18:00-20:00 懇親会(宇治生協食堂) 優秀発表表彰						

日本生化学会近畿支部奨励賞受賞記念講演

宇治おうばくプラザ きはだホール

09:23-09:45

「新規炎症性細胞死ネクロプトーシスの分子機構とその病理的意義」

森脇 健太 (大阪大学大学院 医学系研究科 細胞生物学)

座長：支部長 栗原 達夫 (京大)

特別シンポジウム

宇治おうばくプラザ きはだホール

16:15-16:45

講演 1

「免疫賦活複合糖質の合成と新規癌療法への応用」

深瀬 浩一 (大阪大学大学院理学研究科 教授)

座長：三善 英知 (阪大)

16:45-17:15

講演 2

「代謝パスウェイのエンコーディング・デコーディング」

荒木 通啓 (京都大学大学院医学研究科 特定教授)

座長：高木 博史 (奈良先端大)

17:15-17:45

講演 3

「がん、免疫疾患を惹起するユビキチン・シグナリング系：
ケミカルバイオロジーを用いた介入の可能性」

岩井 一宏 (京都大学大学院医学研究科 教授)

座長：二木 史朗 (京大)

A会場 (CB206)

発表9分、質疑応答2分、交代(PC接続)1分

	演題 番号	筆頭発表者	筆頭発表者所属	発表題目	
10:00-10:12	A01	清水 かほり	大阪大谷大学 薬学部 生化学講座	リゾホスファチジルコリンアシル転移酵素の肝臓特異的な高発現が2型糖尿病モデルマウスに与える影響の検討	座長:
10:12-10:24	A02	* 大東 親生	滋賀医科大学分子病態生化学	ジベプチジルペプチダーゼ-3が糖尿病での腎機能悪化を抑制	加藤裕教(京大)
10:24-10:36	A03	前原 都有子	大阪薬科大学病態生化学研究室	プロスタグランジンF2 α は肺炎の悪化を制御する	中瀬生彦(大阪府大)
10:36-10:48	A04	* 東垂水 郁圭	大阪薬科大学病態生化学研究室	敗血症におけるプロスタグランジンF2 α の機能および制御機構の解析	
10:48-11:00	A05	* Tran Duy, Binh	京都工芸繊維大学機能物質化学専攻	LSD-1 dysfunction induces abnormal thorax development via regulating the JNK pathway of Drosophila melanogaster	
11:00-11:12	A06	* 渡邊 和果	立命館大学生命科学研究科医化学研究室	ニンドウの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導抑制作用を持つ成分の解析	
11:12-11:24	A07	* Mahmud Siddique, Salman	神戸大学大学院医学研究科	高齢PKN1キナーゼネガティブノックインマウスは、高齢PKN1ノックアウトマウスと異なった表現型を示す。	
11:24-11:36	A08	* 奥 陵佑	和歌山県立医科大学医学部4年	マウス体内のC-マンノシル化トリプトファンとその加齢による変化	
11:36-11:48	A09	* 岡本 聖香	神戸大学農学研究科生命機能科学専攻	DGKaの活性化における67kDaラミニン受容体のパルミトイル化の重要性	
11:48-12:00	A10	* 真壁 鈴佳	立命館大学大学院生命科学研究科医化学研究室	コウブシンの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導抑制作用を持つ成分の解析	
14:15-14:27	A11	* 千賀 明香音	京都府立大学大学院生命環境科学研究科	PET分解酵素Cut190の機能と安定性に与える二価金属イオンの影響	座長:
14:27-14:39	A12	* 岸 果苗	同志社女子大学薬学部生命物理化学研究室	Sp1亜鉛フィンガータンパク質の酸化反応における速度論的解析	齋藤一樹(姫路獨協大)
14:39-14:51	A13	* 橋本 梨奈	同志社女子大学薬学部 生命物理化学研究室	酸化型GAGA亜鉛フィンガータンパク質を用いたグルタチオンの還元反応における構造と反応メカニズムとの相関性	茂里 康(和歌山県医大)
14:51-15:03	A14	* 神谷 亜門	同志社女子大学薬学部 生命物理化学研究室	オリゴアルギニンとゲノムDNAとのポリイオンコンプレックス形成挙動—巨視的スケールによる熱力学的および形態観察—	
15:03-15:15	A15	* 森下 梨佳子	神戸大学大学院理学研究科化学専攻	EF-handモチーフを導入したカルシウム結合型ペプチドの設計とそのナノファイバー化	
15:15-15:27	A16	* 黒川 南	神戸大学大学院理学研究科	人工設計ペプチドによるナノファイバーの形成とその構造制御	
15:27-15:39	A17	河野 健一	京都大学化学研究所生体機能設計化学研究領域	ペプチドを用いた膜曲率センシング	
15:39-15:51	A18	* 阪井 貴之	京都大学化学研究所生体機能設計化学領域	相互認識プローブを用いた曲率誘導ペプチドの細胞膜相互作用の増強	
15:51-16:03	A19	岩本(木原) 昌子	長浜バイオ大学バイオサイエンス学部	ATP合成酵素 γ サブユニットのカルボキシル末端側ヘリックスは ϵ サブユニットの構造とエネルギー共役に関与している	

B会場 (CB207)

発表9分、質疑応答2分、交代(PC接続)1分

	演題 番号	筆頭発表者	筆頭発表者所属	発表題目	
10:00-10:12	B01	* 砂原 弘文	京都工芸繊維大学生体分子機能化学研究室	大腸菌およびサルモネラ菌を溶菌するバクテリオファージKIT03の感染受容体解析	座長:
10:12-10:24	B02	* 松永 慶	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	5-アミノレブリン酸合成酵素のグリシン複合体構造の結晶学的研究	根木 滋(同女大)
10:24-10:36	B03	大森 勇門	大阪工業大学工学部生命工学科	好熱菌Geobacillus kaustophilusが栄養増殖中に生産するアラニン脱水素酵素の同定	三原久明(立命館大)
10:36-10:48	B04	* 姫田 康平	京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻酵素化学分野	リボヌクレアーゼH2を欠損させたマウス線維芽細胞株NIH3T3の性状解析	
10:48-11:00	B05	益田 俊博	京都大学化学研究所生体機能設計化学研究領域	両親媒性ペプチドによるエンドサイトーシス誘起	
11:00-11:12	B06	* 田中 里佳	立命館大学タンパク質修飾生物学研究室	膜タンパク質のシェディング切断部位決定機構の解析	
11:12-11:24	B07	* 釜阪 紘平	京都大学化学研究所分子微生物科学研究領域	Shewanella sp. HM13 における菌体外膜小胞を介したタンパク質分泌機構における細胞表層構造の働き	
11:24-11:36	B08	* 横山 文秋	京都大学化学研究所分子微生物科学研究領域	バイオフィーム分散に関与するセンサータンパク質のホモログを介した細菌ベシクル生産制御	
11:36-11:48	B09	* 下田 佳苗	姫路獨協大学薬学部生物分析化学研究室	複雑なジスルフィド構造を有するカイコガ前胸腺刺激ホルモンの大量調製法の確立 ~分泌型発現系を備えたプレバチルス菌の利用~	
11:48-12:00	B10	野村 健人	大阪大学基礎工学研究科システム創成専攻電子光科学領域	高速AFMによるDNA結合光受容タンパク質Photozipperの1分子動態イメージング	
14:15-14:27	B11	小川 拓哉	京都大学化学研究所分子微生物科学研究領域	海洋性Shewanella属細菌による ω -3系高度不飽和脂肪酸の変換経路の解明	座長:
14:27-14:39	B12	* 石戸 雄大	立命館大学生命科学部生物工学科	Geobacter sulfurreducens由来のロダネーゼ様酵素ExtHの精製条件検討と諸性質解析	亀井加恵子(京工繊大)
14:39-14:51	B13	* 宮本 侑季	京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻生物機能変換学分野	腸内細菌叢による食品添加物多糖の分解と分解菌の性状	増井良治(大阪市大)
14:51-15:03	B14	松原 守	京都先端科学大学バイオ環境学部分子生物学研究室	パーキンソン病原因タンパク質 α -synucleinの凝集を阻害する食品成分の探索	
15:03-15:15	B15	* 坂本 健太郎	京都大学化学研究所生体機能設計化学研究領域	ペプチドによる細胞質への高分子送達技術の改良	
15:15-15:27	B16	* 北田 千江梨	同志社女子大学薬学部生命物理化学研究室	細胞膜透過性における二次元カチオンクラスター構造の重要性	
15:27-15:39	B17	* 大塚 唯	京都工芸繊維大学工芸科学研究科機能物質化学専攻生体高分子情報	ピレンプローブを用いたエクソスキッピング誘導効率評価法の開発	
15:39-15:51	B18	* 奥永 望月	同志社女子大学薬学部生命物理化学研究室	PARP-1の自己ポリADPリボシル化反応におけるWGRIドメインの重要性	
15:51-16:03	B19	* 古閑 修輝	大阪大学薬学部細胞生物学分野	緑膿菌の薬剤排出ポンプMexBにおける阻害剤結合ピットの包括的解析	

C会場(CB216)

発表9分、質疑応答2分、交代(PC接続)1分

	演題 番号	筆頭発表者	筆頭発表者所属	発表題目	
10:00-10:12	C01	* 行天 大智	大阪大学蛋白質研究所分子発生学研究室	網膜視細胞におけるアンキリンリピート蛋白質PankyとPanky-likeの機能解析	座長: 芦高恵美子(大工大) 申 惠媛(京大)
10:12-10:24	C02	* 前田 和	大阪大学蛋白質研究所分子発生学研究室	網膜視細胞の明暗順応を制御するユビキチン化酵素の機能解析	
10:24-10:36	C03	* 西川 翔	長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科統合バイオ科学技術領域	イトヨ侵害刺激センサーTRPA1の機能解析	
10:36-10:48	C04	* Li, Cheng	立命館大学生命科学研究科医化学研究室	Effect of Chrysanthemum indicum flowers on nitric oxide production in rat hepatocytes	
10:48-11:00	C05	* 串上 遥香	和歌山県医科大学大学院準備過程	細胞性栄養膜細胞(BeWo細胞)における小胞体ストレスとカルレチキュリンの影響	
11:00-11:12	C06	大垣 隆一	大阪大学大学院医学系研究科生体システム薬理学	ヘテロ二量型アミノ酸トランスポーター複合体LAT1-4F2hcは胎盤の合胞体性栄養膜形成に必須の細胞融合因子である	
11:12-11:24	C07	* 廣瀬 修平	同志社大学生命医科学研究科医生命システム専攻遺伝情報研究室	転写因子NRF3(NFE2L3)はアミノ酸取り込みを介してmTORシグナルを活性化する	
11:24-11:36	C08	川口 高德	立命館大学薬学部分子生理学研究室	NKCC2の電解質再吸収におけるMoesinの生理的役割の解明	
11:36-11:48	C09	* 平野 航太郎	京都大学工学研究科 合成生物化学専攻 生体認識化学分野	骨格筋再生過程における機械受容イオンチャネルPIEZO1の役割	
11:48-12:00	C10	* 村中 美月	大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学講座	AFP-L3 選別輸送の分子機構の解明	
14:15-14:27	C11	* 岸田 捷暉	大阪大学大学院生命機能研究科	オートファジー関連経路に依存した小胞体-ミトコンドリア膜接触部位のタンパク質分解	座長: 井原義人(和歌山県医大) 原 雄二(京大)
14:27-14:39	C12	* 池田 知世	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室	遺伝子破壊メダカを用いた小胞体関連分解因子の生理的役割の解析	
14:39-14:51	C13	* 金 聖宇	京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻生物物理学教室	ヒト大腸がん由来細胞を用いた小胞体膜結合性転写因子ATF6欠損細胞株の樹立と解析	
14:51-15:03	C14	田畑 裕幸	姫路獨協大学薬学部生化学研究室	チロシンキナーゼSykによるファゴソーム成熟機構の調節	
15:03-15:15	C15	* 梶田 春奈	京都産業大学大学院生命科学研究科	細胞脱落における細胞接着のリモデリング	
15:15-15:27	C16	* 吉邨 正夢	京都産業大学大学院	ショウジョウバエ蛹期上皮を用いた、細胞脱落の実行機構の解析	
15:27-15:39	C17	加藤 洋平	京都大学大学院薬学研究科生体情報制御学分野	膨張顕微鏡法(Expansion microscopy)を用いた一次繊毛の超解像観察	
15:39-15:51	C18	* 瀨本 明日香	京都大学薬学研究科生体情報制御学分野	リン脂質フリツパーゼATP11C(b)の極性局在と活性化型ezrinとの関係	
15:51-16:03	C19	* 中山 彰吾	大阪大学大学院生命機能研究科分子生体情報学	気管上皮における平面内細胞極性因子Dapleを介した多繊毛同調運動形成機構	

D会場 (CB217)

発表9分、質疑応答2分、交代(PC接続)1分

	演題 番号	筆頭発表者	筆頭発表者所属	発表題目	
10:00-10:12	D01	* 岡田 凌	立命館大学生命科学研究科医化学研究室	ビャクシの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導を抑制する成分の探索	座長:
10:12-10:24	D02	森瀬 謙二	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻	胎生期マウス脳に発現するHNK-1糖鎖は神経突起伸長を促進させる	瀬尾美鈴(京産大)
10:24-10:36	D03	* 棚橋 亮弥	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	酵母を用いた神経変性疾患に関わる凝集タンパク質の分解機構の解析	藤原範子(兵庫医大)
10:36-10:48	D04	間下 雅士	同志社女子大学薬学部薬理学研究室	Truncated dysfunctional ARH3 mutant exhibits PARP1-dependent progressive neurodegeneration phenotype in humans	
10:48-11:00	D05	* 鈴木 慎一郎	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科バイオサイエンス領域	神経機能を制御するドコサヘキサエン酸(DHA)の新規作用機序の解明	
11:00-11:12	D06	* 篠原 早貴	大阪薬科大学病態生化学研究室	脂肪細胞分化制御における核内受容体FXRの機能解析	
11:12-11:24	D07	* Nguyen Dinh Hai, Yen	京都工芸繊維大学機能物質化学専攻	LSD-2 dysfunction induces abnormal cell cycle in the salivary gland of Drosophila melanogaster	
11:24-11:36	D08	* 小森 拳一	京都工芸繊維大学機能物質化学専攻生体分子機能化学研究室	ショウジョウバエ脂質代謝関連因子Microsomal triglyceride transfer protein (MTP) の発生過程における機能解析	
11:36-11:48	D09	* 本岡 溪	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座	新規測定法によるフコシル化ハプトグロビンの膵臓がんバイオマーカーとしての有用性	
11:48-12:00	D10	* 湯浅 愛	大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学講座	急性肝障害におけるMac-2 binding proteinの機能についての検討	
14:15-14:27	D11	* 角地 宥香	大阪工業大学工学部生命工学科	エーラス・ダンロス症候群原因遺伝子テネインX欠損マウスの疼痛反応と神経線維解析	座長:
14:27-14:39	D12	* 寺本 昂司	京都大学大学院薬学研究科神経機能制御学	グルコース飢餓におけるアミノ酸トランスポーターxCTを介したEphA2リガンド非依存的シグナルの制御	扇田久和(滋賀医大)
14:39-14:51	D13	* 野田 愛美香	大阪大学医学系研究科保健学専攻 機能診断科学講座	慢性膵炎の病態進展におけるEnterococcus faecalisの関与	通山由美(姫路獨協大)
14:51-15:03	D14	* 小山 万葉	大阪大学医学系研究科機能診断科学講座	RIPK1 の樹状細胞における機能と実験的腸炎に与える影響	
15:03-15:15	D15	* 塚本 智仁	大阪大学大学院薬学研究科創成薬学専攻	プロモーター改変による高力価CRISPR-LbCas12a搭載アデノウイルスベクターの作製	
15:15-15:27	D16	* 金澤 優里	大阪大学大学院 医学系研究科機能診断科学講座	コアフコースはマクロファージの活性化に重要な糖鎖修飾である	
15:27-15:39	D17	井上 雅己	神戸学院大学薬学部生体機能制御学研究室	免疫疾患治療薬としての1型TNF受容体アンタゴニストタンパク質の創製と構造最適化	
15:39-15:51	D18	小池 敦資	大阪薬科大学薬学部病態生化学研究室	スタチン系薬剤によるToll-like receptor 3を介した抗ウイルス作用抑制機構の解析	
15:51-16:03	D19	* 青木 絢子	大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻細胞機能制御化学研究室	ホウ素中性子捕捉療法を指向したオンデマンド抗体結合型ホウ素薬剤の受容体標的	

高校生ポスター（おうばくプラザ2階ハイブリッドスペース）

演題番号	筆頭発表者	筆頭発表者所属	発表題目
P101	小堀 玲奈	兵庫県立小野高等学校	シハイスミレの形態と遺伝変異
P102	岩本 雅弥	奈良県立奈良北高等学校	植物の成長に影響を与える菌根菌・内生菌から放置竹林拡大問題にアプローチする！
P103	田口 光喜	奈良県立奈良北高等学校	色素増感型太陽電池における複数色素混合の効果